

「ニュースに一言」

パリ協定

三上友子さん(大学生、20歳) 静岡市葵区 地球の平均気温が2度上昇すると、世界中で主食になっている小麦の約2割が栽培できなくなると授業で知り、「このままではいけない」との思いが強くなりました。途上国は今後の経済成長に伴っ

地球温暖化対策の新しい国際的枠組みとして「パリ協定」が採択され、日本や米国、中国などが署名した。京都議定書は先進国だけに温室効果ガスの削減義務を課したが、同協定では途上国を含め全ての国が対策に当たる義務を負う。



温室効果ガス削減 先進国から実践を

「これまで以上に二酸化炭素(CO₂)を排出することが予想されます。確実に削減対策をしてもらいために、まずは日本など先進国が率先して取り組み、技術提供もしていくべきです。」

火力など化石燃料を使った発電を抑え、再生可能エネルギーを広めていくことも重要です。普及には発電効率やコスト面の改善が欠かせません。高校時代の課題研究を機に新たなエネルギー源への関心が高まり、現在は静岡理工科大(袋井市)で太陽光発電の蓄電について学んでいます。将来はコンデンサーの開発に携わりたいと思っています。

ディーポップ
DeePop

ツイッター、投稿
専用コード



～はじける世代を深く